

優しく強い子に!



<http://www.minamih.net/18-1-20> (土)  
南NEWS no 102

**JFA news いざ ロシアへ**  
2018年 5月号より  
「学ぶ」ではなく、「共に創る」。p 21  
…将来のビジョンを具現化するプロセスをより鮮明な形にするために、

- ・今の自分がやりたいこと (will)
- ・できること (can)
- ・しなければいけないこと (must)

という観点で簡単な行動計画を描く。  
will・can・mustの意味を子ども達のサッカーにたとえて愛宕とのTMの前に話しました。  
素晴らしいサッカーを創るためだけではなく、より良く生きるために必要な自己分析ができる言葉ですね。時々子ども達と話したいと思います。  
by 南のアンパンマン

### 6年生 練習試合 vs 愛宕 5月27日 @文化大G



- めあて: コーチング、アーリーヒット、攻守の切り替えを速く
- 南八王子 0-1 愛宕 前半 0-1
- 南八王子 2-1 愛宕 前半 1-1
- 得点者: ヒカル君 トア君 アシスト: リョウタ君

試合前、シンセイ君の兄、シンジ先輩からシュートのコツを習い試合に臨みましたが、まだまだ、自分のものになっておらず、シュートを外しました。1試合目は20数本シュートしましたが得点ならず、逆に相手はシュート1本をしっかりと決め勝利しました。  
相手2トップに対してDFがウラをとられるシーンが多くみられました。  
2試合目も前半から10数本シュートを打ちますが入らず。11分にやっとヒカル君のロングシュートがはいりますが、すぐにウラを取られて前半同点。後半になり「やっとエンジンがかかり、リョウタ君のドリブルからのスルーパスをしっかりと芯でとらえたトア君が決めて追加点。その後も攻め続けますがシュートが入らず試合終了となりました。

シュートシーンまでのつなぎ、ドリブルはとても良いのですが前の選手の呼ぶ声がまったく聞かれません。その為中盤で潰されるシーンが多くみられました。トラップの方向、シュート時のボールを置く位置など各自でも練習しましょう。また、前が詰まってターンをするのは良いのですが、そこでごちゃごちゃして奪われるシーンも多かったためノゾミ君とトア君が見せてくれたように落としのワンツーなどにもチャレンジしましょう。 by 清水コーチ

	2018年		5月		27日		場所:		文化大G				
	のみみ君	とあ君	ゆうひ君	ゆうと君	そなた君	りょうた君	りょうと君	しんせい君	てっぺい君	りんべい君	ひかる君	ちかこさん	はやと君
アウトサイドフック			○					○			○		○
ドラッグバック											○		
ストップターン													
ライトアングル												○	○
ステップオーバー								○			○		
クライフターン								○	○		○		
ストップ・ゴー			○								○		
椅子の形	○												
マッシュス													
V字											○		○
ダブルタッチ	○	○									○		○
スモールブリッジ													
ビックブリッジ											○		
シザーズ	○												
ロコモティブ													
マルセイユルーレット	○	○											
金田ダンス	○					○					○		



### 21世紀へ教育は変わる

寺脇 研 (文部省学習振興課長・広島県教育長) 著 近代文芸社

#### 競争の時代はもうおしまい

受験勉強を経ていい大学やいい会社に入る競争は日本の活力のためにも必要なのではないかと、という意見が依然としてありますが、それは違います。競争を勝ち抜くことを目指した二十世紀的な考え方は終わり、二十一世紀は共生の時代へと変わっていくのです。  
共生とは、これからはみんながそれぞれのいいところを生かし合って生きていく、ということです。勉強のできる子だけが素晴らしいのではありません。学校の試験ではあまりいい点数が取れなくても他の面で素晴らしいことがあります。その力を地球のために、それぞれが発揮するという時代になっています。  
実は、これは私が言った言葉ではないのです。亡くなられた福田赳夫元総理大臣の遺言です。福田元総理大臣は平成7年に九十歳で亡くなられましたが、「二十一世紀の日本、地球のことが心配だ。我々が生きてきた競争社会という考え方を改め、共生社会にしていかない限り地球が滅ぶし、もし日本だけが取り残されるようになったら日本が滅ぶ」と、最後まで心配しておられたそうです。二十一世紀は、今までの尺度では測れないくらいに世の中が変わるのです。もう、日本という枠の中では生きていけなくなるということは、すでにはっきりしています。  
地球という規模で考えた時、○○大学卒、○○会社という肩書は全然関係ないのです。今までは、クーラーの利いている涼しいところで仕事をするホワイトカラーのほうがいとされ、農業や汗を流して工事をする人を低く見てきました。しかし、地球規模でものごとを考える時代においては、食料を作る人、工事をする人、環境問題を解決する人みんなが大切なのです。

※続きはまた後のNEWSに掲載いたします。

最近読み終わった本です。寺脇氏は時々マスコミにも登場し、分かりやすい語り口で、未来に生きる子どもたちの立場で、明快に、教育の進むべき方向を指し示してくれる人です。寺脇氏の著作、いくつか読んでいます。

